

ワークショップ

“現場からみた紛争解決と平和省”

日時：2014年2月16日(日)
13:30～15:30 (受付 13:15)

会場：TKPスター貸会議室
常和御茶ノ水ビル2階
千代田区神田駿河台 2-1-18
JR線「御茶ノ水駅」聖橋口 徒歩1分
丸の内線「御茶ノ水駅」出口1 徒歩2分
千代田線「新御茶ノ水駅」B1出口 徒歩3分
http://www.kaigishitsu.jp/room_ochanomizu.shtml

講師：伊勢崎 賢治 氏

主催：平和省プロジェクト JUMP
<http://ministryofpeace.jp/>

先着20名

参加費：1,500円 (予約 1,000円、当日ボランティア&学生 500円) **ティータイトム (お菓子つき)**

予約：タイトル「伊勢崎イベント予約」で、本文にお名前を明記のうえ、ryuichi.thono@gmail.com (藤野) へ。

参考図書：『紛争屋の外交論—日本の出口戦略』伊勢崎 賢治 著、NHK 出版新書

耳より情報：第1章だけでも読んでいくと得するよ!

伊勢崎 賢治氏プロフィール

東京外国語大学総合国際学研究院教授

1957年生まれ。早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了。2000年3月より、国連東チモール暫定行政機構上級民政官として、現地コバリマ県の知事を務める。2001年6月より、国連シエラレオネ派遣団の武装解除部長

として、武装勢力から武器を取り上げる。2003年2月から日本政府特別顧問として、アフガニスタンにおける武装解除を担当、無事成功して世界を驚かせる。大学教授として平和構築・紛争予防講座を担当する傍ら、評論家としてメディアにも出演しており、紛争解決請負人とも呼ばれる。



「集团的自衛権」や「積極的平和主義」ということばが軽々しく叫ばれる昨今。日本の行方が心配です。「国際貢献」のためには、米国の戦争に協力しなければならないのでしょうか。

いや、武力行使しない日本だからこそ果たせる役割がある。NGOや国連職員として世界の紛争現場で政治家や軍閥と渡り合ってきた伊勢崎氏は、自信を持ってそう答えます。

当日のワークショップでは、武力に頼らない紛争解決の方法について、現場からの証言を聞き、真の国益とは何か、そして平和省の可能性についても、いっしょに考えます。

少人数でリラックスした雰囲気の中で、紛争解決のプロと自由に意見交換ができる、またとないチャンス。どうぞお楽しみください。

15:30-17:00 平和省プロジェクト JUMP 拡大運営委員会 (公開)
「JUMP ロードマップをニューロン発想法で」があります。
参加自由なので、こちらもどうぞ!



「平和省プロジェクト JUMP」って?

私たちは、平和省を日本につくることをめざして活動をしている団体です。
私たちは、ふたつの目的を掲げて活動しています。

- あらゆる争いごとを暴力に頼らず創造的対話によって解決する方法を提案し推進する政府機関「平和省」を日本に創設すること。
- 平和省の基本理念となる「平和の文化」を育て広めること。

会場アクセス



★最新情報は、<http://ministryofpeace.jp/> をご参照ください!

ニューロン発想法は<http://www.neuron-ics.com/ie/> をご参照のほど!